

資格を生かす

国家試験受験資格をはじめ、食品や環境、動物にかかわるさまざまな資格の取得が可能です。さらに、教職課程のカリキュラムを履修することにより中学・高等学校教員免許の資格も取得できます。

獣医学科で取得可能な資格

国家資格	任用資格*	その他
<ul style="list-style-type: none"> ● 獣医師 ● 甲種危険物取扱者 ● 第1種作業環境測定士(実務経験1年以上) ● 労働衛生コンサルタント(実務経験5年以上) ● 普及指導員(実務経験4年以上) ● 家畜人工授精師 	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境衛生監視員 ● 環境衛生指導員 ● 食品衛生監視員 ● 食品衛生管理者 ● と畜検査員 ● 食鳥検査員 ● 狂犬病予防員 ● 薬事監視員 ● 種畜検査員 ● 飼料製造管理者 ● 家畜防疫官・家畜防疫員 ● 家庭用品衛生監視員 ● 動物愛護担当職員 <p><small>* 所定の単位を修得し、卒業後その資格に関連する職務に就いた場合に、申請して取得できる資格</small></p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 農業教員免許(高校) ● 理科教員免許(高校・中学)

学びを仕事に

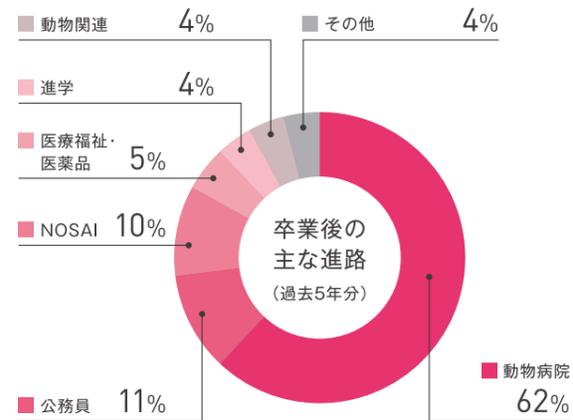
幅広い業種への就職実績

- 臨床獣医師(小動物・産業動物)
- 国家公務員(農林水産省)
- 地方公務員(家畜保健衛生所・食肉衛生検査所・保健所)
- バイオテクノロジー研究者(医薬・治験)
- 実験動物技術者
- 畜産技術者
- ペット関連産業従事者
- 研究・開発職(医薬・食品・飼料)
- 大学院進学 など(過去5年分)

過去5年間累計 獣医師国家試験合格者数 **No.1**※

5年連続就職率 **99%**

※農林水産省「獣医師国家資格の結果(過去5年間)」引用



就職先・進学先(過去5年分)

動物病院	全国各地の動物病院(2次診療施設含む)	公務員	農林水産省/環境省/全国各地の県庁/市町村など基礎自治体
NOSAI (農業共済組合)	NOSAI北海道/NOSAI岩手/NOSAI宮城/NOSAI山形/NOSAIぐま/NOSAI千葉/NOSAIひょうご/NOSAI岡山/NOSAI広島/NOSAI宮崎 など	医療福祉・医薬品	アステラス製薬/オリンパス/共立製薬/セリア新薬工業/大正製薬/大鵬薬品工業/帝人/日本全業工業 など
進学	麻布大学大学院/大阪大学大学院/東京医科歯科大学大学院/東京大学大学院/東京農工大学大学院/北海道大学大学院 など	動物関連	オリックス水族館/軽種馬育成調教センター/地方競馬全国協会/日本中央競馬会(JRA)/横浜八景島 など
		その他	医薬品医療機器総合機構/農業・食品産業技術総合研究機構 など

獣医師養成確保修学資金貸付制度

他県の出身者であっても、返還免除がある奨学金を用意する地方自治体があります。詳しくは「獣医師養成確保修学資金貸付制度」でWeb検索!!

父母会の奨学金もあります

神奈川県にある
メリットを最大限に
生かそう!!

- 大学生が参加できるセミナーも首都圏で充実
- 大学の外での活動も人生の糧になる
- 勉強も大事だけど、仲間との思い出も大切

麻布大学
AZABU UNIVERSITY

オープン
キャンパス
情報



入試要項



資料の請求・受験に関するご質問は
「麻布大学 入試広報課まで」

TEL 042-769-2032

MAIL nyushi@azabu-u.ac.jp(入試広報課)

https://www.azabu-u.ac.jp/

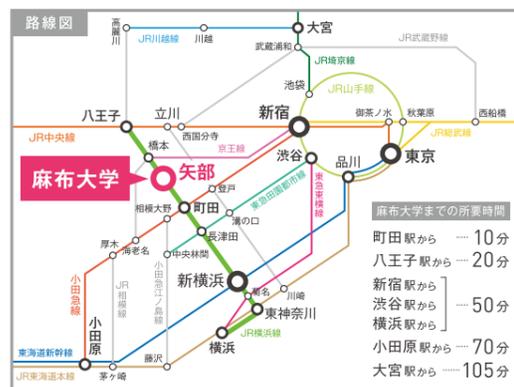


〒252-5201
神奈川県相模原市中央区淵野辺1-17-71

JR横浜線 矢部駅 下車

北口から 徒歩 4分

※お車でのご来場はご遠慮ください。



獣医学部

獣医学科

VETERINARY MEDICINE

麻布大学
AZABU UNIVERSITY



獣医師をめざすなら 麻布大学・獣医学科へ

人と動物の関係が多様化する中で、獣医師にも幅広い役割が期待されるようになってきました。そのため本学科には、5つの系統から専門分野を多角的かつ総合的に学ぶことができるカリキュラムが充実。小動物、産業動物、公衆衛生など多様な分野で活躍できる、優れた獣医師の養成をめざしています。

麻布大学の確かな実践教育

約130年前から
獣医学教育を実践!!
伝統と歴史!!



日本で最初に
獣医学教育評価で
適合と認定



過去5年間の
獣医師国家試験
累計合格者数
No.1
(2023年 現在)

生き物に
興味があるけど
将来の就職先が
不安...

実はそんなあなたには
**獣医学科が
おすすめ!!**

麻布大学の特色

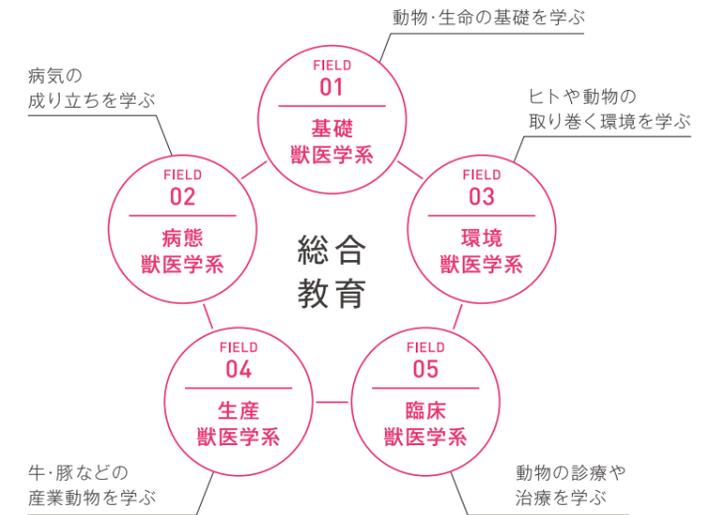
- 国内だけでなく、海外の専門医資格を持った教員が在籍
- 最先端の技術で臨床獣医師としての実践力を身につけられる
- 特許を取得している教員も在籍
- 3年次(希望者は1年次)から、研究室での活動が可能
- 実験動物のことをさまざまな角度から総合的に学べる
- 全国最多のOB、OGが就職をサポート



獣医学科での学び

5つの分野から
多角的な知識を身につけます

「動物や生命の基礎」「さまざまな病気の成り立ち」「牛や豚などの産業動物」「動物の診療や治療」「ヒトや動物の取り巻く環境」という5つの学びの観点から、獣医学科の幅広い領域について系統的に学べるカリキュラムを編成。



動物のことを基礎から臨床まで
段階的・総合的に勉強・研究ができる。

学びのポイント

- POINT 1** 40もの研究室で多様な分野の獣医学を学べる
- POINT 2** 獣医療の現場と連携した多彩な実践教育
- POINT 3** 国家資格取得のための総合的なカリキュラム

日本の獣医学系大学で最多の40研究室を学部擁し、「基礎獣医学系」「病態獣医学系」「環境獣医学系」「生産獣医学系」「臨床獣医学系」から多角的に学べます。

学内の「獣医臨床センター(附属動物病院)」での実習や牧場実習、「産業動物臨床教育センター(LAVEC)」での実践的な学びなど、カリキュラムは多彩です。

獣医師国家資格の取得をめざす総合的なカリキュラムを設定。6年次後期の「総合獣医学」では学習の総まとめを行い、基礎力・応用力のアップを図ります。

獣医学科の特色

- 都市部にある1つのキャンパス内の施設で全てが学べる。
- 動物のいる実習施設が充実!!
- より詳しく学べる研究室が40も存在。どんな卒業研究をするかはあなたのやる気次第。
- 机の上の勉強だけではない。実践的な実習が盛り沢山!!
- 1学年120人以上。社会に出て頼れる仲間が大勢。
- 研究に取り組むことで、科学的な思考方法、実践的なスキルが身につく。就職に役立つ。

実習施設情報!!

研究室情報!!

全国No.1

PICK UP!



小動物臨床実習

獣医師になるために
病気と向き合っていく!

講義や実習で得た知識を生かし、チューデントドクターとして、附属動物病院の患者(犬・猫)の診療に参加します。



産業動物臨床実習

産業動物の健康は
ヒトの健康に重要

附属動物病院に入院した産業動物に対し、検査、治療、手術、看護および予後判定までのすべての過程を学生が主体的に取り組みます。



獣医総合臨床実習

最先端の技術で臨床獣医師としての
実践力を身につける

臨床獣医学の各分野について総合的に学びます。獣医外科学では、VRを活用した臨場感溢れる映像で、手術に関する技術や知識を修得します。

獣医学科

解剖学第一研究室

病気を理解するためにまずは動物の健康な状態を知ろう

准教授:市原 伸恒
講師:大石 元治

研究テーマ

動物の正常な体の仕組み

皮膚のバリア機能を担う細胞のはたらきを探る。体の動きの秘密を骨と筋肉から探る。

研究対象

伴侶動物、産業動物

分子生物学研究室

動物の成り立ち、生い立ち、歩みをDNA・RNAから解き明かす

教授:村上 賢

研究テーマ

動物の遺伝子の発現制御機構

動物の遺伝子が発現するしくみを解明し制御して…牛を効率よく太らせる、犬や猫を無理なく痩せさせる、骨を丈夫にする、など。

研究対象

伴侶動物、産業動物、実験動物、野生動物

伝染病学研究室

伝染病の病原体診断、予防に関する研究に取り組んでいます

教授:長井 誠
准教授:村上 裕信 / 助教:石田 大歩

研究テーマ

動物の感染症の制御

生体試料からの病原体検出、病原体の性状解析や抗ウイルス作用のある化合物の探索など、動物の感染症の制御に役立つ研究

研究対象

産業動物、伴侶動物、野生動物

解剖学第二研究室

神経細胞と神経膠細胞の協調

教授:坂上 元栄
講師:小澤 秋沙

研究テーマ

模様、毛の状態、毛周期

動物の模様を決める毛色が生じるメカニズム、毛の状態を決める要因などに関する研究

研究対象

実験動物、ほ乳類

病理学研究室

動物がどのように病とたたかい生き抜こうとしたのかを探ります

教授:上家 潤一
講師:相原 尚之 / 助教:志賀 崇徳

研究テーマ

動物の病気のなりたちを調べる

ヒトと動物でともに重要な病気であるアミロイド症、リンパ腫、筋ジストロフィーといった疾患の病理発生を研究しています。

研究対象

産業動物、伴侶動物

臨床診断学研究室

小動物の臨床病理と産業動物のX線がメインの診断に特化した研究室です

教授:山田 一孝
講師:根尾 櫻子

研究テーマ

臨床病理と画像診断

画像診断検査の裏付けを臨床病理検査で行う新しい学問分野です。

研究対象

イヌ、ネコ、ウシ

生化学研究室

基礎と臨床を研究でつなぐ

教授:山下 匡
講師:永根 大幹

研究テーマ

病気を調べて治療法を研究する

疾患に関わる様々な分子経路を解析し、病気の原因となる遺伝子・タンパク質・脂質の機能を明らかにする。

研究対象

培養細胞、マウス、イヌ

寄生虫学研究室

生き物の中にはなんらかの生物がいて共生あるいは寄生している

教授:平 健介

研究テーマ

家畜寄生虫病、人獣共通寄生虫病、消化管内寄生虫

産業上あるいは公衆衛生上問題となる家畜や伴侶動物の寄生虫病で、特に消化管内寄生虫による病気の予防治療に関する研究を行っている。

研究対象

産業動物、伴侶動物、魚類、昆虫類

公衆衛生学第一研究室

環境からのメッセージを読み解こう

准教授:吉岡 亘
講師:杉田 和俊

研究テーマ

環境と動物の相互作用

環境衛生とその関連の領域の中で(1)分析化学方面から化学物質の検出(2)生物学方面から環境応答の分子基盤の解明に取り組んでいます。

研究対象

環境試料(土壌・水など)、生体試料(実験動物組織・体液)

生理学第一研究室

爬虫両生類を中心に、エキゾチックアニマルの生理学を研究しています

教授:村上 賢(兼務)
講師:松井 久美(兼務)

研究テーマ

年齢推定、ボディコンディション、体色

健康度や年齢、性別など、野生動物の保全の観点で当該種の集団構造を考える際に有用となる基礎情報を測定するための手法開発に取り組んでいます。

研究対象

両生類、爬虫類、鳥類(野生動物・コンパニオンアニマル)

微生物学研究室

動物のウイルス感染症の撲滅をめざします

教授:田原口 智士
講師:藤野 寛

研究テーマ

ウイルスの抑制と病原性発現機序の解明

ウイルスが感染して病気を起こすまでには、ウイルスと宿主の間で様々な相互作用が起こっています。それらをウイルス側・宿主側から解明していこうとしています。

研究対象

ウイルス、伴侶動物、産業動物

公衆衛生学第二研究室

毎日食べる食品の安全性や動物由来感染症を研究しています

教授:森田 幸雄
講師:岡谷 友三 アレシヤンドレ

研究テーマ

食品、特に食肉の摂取に起因する感染症について

家畜や野生動物は一見健康でもO157等の食中毒菌を腸管内に保菌しています。これらの細菌による食中毒を防止する方法を科学的に証明しています。

研究対象

と畜場法(牛、豚、馬、めん羊、山羊)、食鳥処理法(鶏)、ジビエ(イノシシ、シカ等)の糞便や食肉

生理学第二研究室

ヒトと動物の病気の原因と診断・治療法の追究

教授:折戸 謙介
講師:井上 真紀

研究テーマ

病因究明と診断・治療法の追究

人や動物の疾病の原因を解明し、病態メカニズムをもとに診断・治療方法を提案する。

研究対象

伴侶動物、実験動物

小動物内科学研究室

「臨床の限界」という壁をサイエンスでのりこえる

教授:久末 正晴
講師:五十嵐 寛高

研究テーマ

犬猫の再生医療、腸内細菌、腫瘍、免疫

肝臓の再生医療、糞便移植や腸内細菌叢の解析、血液腫瘍の免疫介在性疾患の診断・治療を研究しています。

研究対象

伴侶動物(犬、猫)

薬理学研究室

動物や人の健康と幸福に貢献することをめざして

教授:善本 亮
准教授:福山 朋季 / 講師:梶 典幸

研究テーマ

薬や食品成分の薬理作用と安全性

消化管疾患、糖尿病、アレルギー、歯周病の発症機序解明、および各疾患に影響を及ぼす化学物質の研究／トリグリセリドを中心とした脂質の生体への作用の研究

研究対象

実験動物、細胞、細菌

産業動物内科学研究室

産業動物の健康は私たちの心と身体の健康です

教授:恩田 賢
講師:新井 佐知子 / 助教:風間 啓、堀 香織

研究テーマ

牛の臨床、代謝・泌乳生理、蹄病、豚の内科学と運動器疾患

正常な動物から病気の動物まで、牛や豚の生物学的な特徴を明らかにし、健康な動物の生産を通して人と環境を豊かにする研究を行っています。

研究対象

産業動物(牛、豚)

小動物外科学研究室

さまざまな専門的視点から犬猫の臨床獣医学に取り組む

教授:藤井 洋子、高木 哲、藤田 幸弘
准教授:齋藤 弥代子、青木 卓磨 / 講師:金井 詠一

研究テーマ

犬猫の臨床獣医療

軟部組織外科、腫瘍科、整形外科、神経科、呼吸器科、循環器科のそれぞれの専門的視点から臨床獣医学に取り組む。

研究対象

伴侶動物(犬、猫)

感染免疫学研究室

敵を知り、己を知る！病原体から身体を守るしくみと病原体による感染メカニズムの解明

教授:川本 恵子
講師:岡本 まり子、佐藤 祐介

研究テーマ

病原細菌、細菌叢、バクテリオファージ、宿主免疫機構

細菌の攻撃と宿主の防御を解明する研究室。その関ぎ合いの新しい形を提案する研究。

研究対象

実験動物、細胞、細菌、バクテリオファージ、ウイルススペクター

獣医学科

獣医衛生学研究室

牛乳房炎の研究を核に広く牛の生産獣医療を学ぶ研究室

教授:河合 一洋

研究テーマ

牛の乳房炎、生産獣医療

生産獣医療の観点から薬剤耐性や牛乳房炎の治療と防除手法の研究に取り組んでいます。

研究対象
産業動物

実験動物学研究室

実験動物福祉の理念を守りながら人や動物の健康に貢献する

教授:中村 紳一郎
准教授:塚本 篤士

研究テーマ

疾患モデル・実験動物福祉

実験動物福祉の理念を守りながら、人の健康に貢献できる新しい実験動物モデルを研究しています。

研究対象
マウス、ラット

小動物臨床研究室

犬、猫を中心とする臨床的研究を主体に幅広い研究分野に展開する

准教授:西田 英高
助教:伊藤 哲郎、高橋 広樹

研究テーマ

犬・猫の臨床獣医学

内科、眼科、神経外科などのさまざまな専門的な分野から臨床獣医学の発展に取り組む。

研究対象
伴侶動物(犬、猫)

栄養学研究室

健康管理も生産性向上もまずは栄養管理から

教授:勝俣 昌也
准教授:鈴木 武人

研究テーマ

産業動物と伴侶動物の栄養生理

ウシのルーメン発酵と周産期の栄養管理、ブタの時間栄養学とアミノ酸栄養、ネコのカルシウム栄養について研究しています。

研究対象
ウシ、ブタ、ネコ

臨床繁殖学研究室

我々の食卓を支える産業動物の繁殖について研究しています

教授:吉岡 耕治
准教授:野口 倫子

研究テーマ

産業動物の受胎性向上と高度繁殖技術

IoTを活用した繁殖管理システム、産業動物の受胎性向上と高度繁殖技術、豚の人為的初乳作出技術など、生産現場で活用できる研究に取り組んでいます。

研究対象
産業動物

獣医放射線学研究室

動物に負担の少ない診断と治療をめざして

准教授:圓尾 拓也
講師:茅沼 秀樹

研究テーマ

各種画像診断と放射線治療

X線、超音波、CT、MRIといった各種画像診断と放射線治療を通して広くコンパニオンアニマルのQOL向上に寄与する研究を行っています。

研究対象
伴侶動物(犬、猫)

生物科学総合研究所

生物科学総合研究所研究室

まだ知られていない動物の微生物をみんなで発見しよう

教授:落合 秀治

研究テーマ

動物の病原性微生物

かつて例を見たことがない病原性微生物をいち早く発見報告し、動物の健康を守る。

研究対象
産業動物、エキゾチックアニマル

獣医学部所属研究室

基礎教育研究室(生物学)

質の高い独創性がある研究を追求し世界に発信する

教授:佐原 弘益

研究テーマ

癌の生物学

癌の基本的な性質を分子レベルで解明していく。

研究対象
基礎腫瘍学

基礎教育研究室(数学)

緻密な論理に立脚した普遍の真理の探求

准教授:廣田 祐士

研究テーマ

現象の記述と数学理論の究明

現象や物事の機作を数学、特に幾何学の言葉で定式化し、背後に潜む数学的真理を探ります。

研究対象
対称性、トポロジー、力学系

基礎教育研究室(情報科学)

情報科学を礎に生体膜の応用研究や画像の機械学習活用など幅広く

講師:三澤 宣雄

研究テーマ

生体膜の応用研究から機械学習に基づいた画像識別の応用まで幅広く

脂質二重膜を反応場としたセンサ開発や細胞をはじめとする生体試料の画像識別に取り組んでいます。

研究対象
生体材料、細胞、膜タンパク質、核酸

基礎教育研究室(化学)

微生物がつくる未知の生理活性物質から人や動物の薬剤をめざす

准教授:紙透 伸治

研究テーマ

微生物がつくる化合物から薬剤をめざす

動物に生息する微生物がつくる化合物を単離し、これらがどのような効果を示すか培養細胞を使って調べることで薬剤をめざす。

研究対象
微生物、有機化合物、培養細胞

基礎教育研究室(英語)

動物倫理思想の根源と歴史を考察する19世紀英国の資本文化について研究する

教授:石井 康夫 / 准教授:委文 光太郎

研究テーマ

動物観・倫理

動物の「命」の尊さ、生命を持つものへの畏敬の念について考える。

研究対象
小動物・産業動物の倫理文化史

動物応用科学科

動物資源育種学研究室

動物の示す行動のさまざまな謎を遺伝子レベルで解き明かそう!

教授:茂木 一孝(兼務)
准教授:神作 宜男、戸張 靖子

研究テーマ

比較毒性学研究室

化学物質の生体への影響を科学的に解析しています

准教授:宗網 栄二 / 講師:寺川 純平

動物繁殖学研究室

動物の生殖を対象とした総合(設計)生命科学を展開しています

教授:柏崎 直巳、伊藤 潤哉

研究テーマ

野生動物学研究室

野生動物を理解し、人間社会との共生のあり方を探る

教授:塚田 英晴 / 准教授:山本 誉士

動物工学研究室

細胞から個体群まで多様な場面で生体情報を解析します

教授:田中 和明 / 講師:大我 政敏

研究テーマ

介在動物学研究室

ヒトと動物の共生のあり方や相互作用による恩恵を調べます

教授:菊水 健史 / 准教授:永澤 美保

動物行動管理学研究室

動物の行動と管理を理解し、動物と人双方の生活の質の向上をめざします

教授:植竹 勝治 / 講師:加瀬 ちひろ

研究テーマ

動物資源経済学研究室

牛乳・卵・肉の経済とビジネスの仕組みを知ることで健康な社会をつくる

教授:大木 茂

食品科学研究室

動物性食品(肉・乳・卵)を加工する、食べる視点で科学的に解析しています

准教授:水野谷 航、竹田 志郎